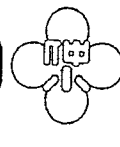


平成24年度
NO. 6
10月3日発行
10月号

仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

健やかな成長を願い

校長 澤井 英子

【大成功 運動会】

猛暑の中練習に励み、すっかり日焼けした子供たちの運動会が、無事終わりました。

オリンピックの今年、トップアスリートが見せた粘り強さと同じように、全力を尽くそうと最後まで努力した子供たちに、大きな拍手を贈ります。何より、行進時の高く上がった膝。整列の背筋がピンと伸びた姿勢に、日頃の学習の成果が現れていました。

各学年とも、演技・競技・短距離走と、それぞれの持ち味を生かしたがんばりに、大きな声援を頂きました。一部を紹介します。

5年生の『仲町ソーラン』の気迫ある力強い演技。学級毎に工夫した動作もあり、一糸乱れぬ行動が見事でした。仲二町会にお借りしたはっぴを身体に合わせるために、家庭科で学習した返し縫いで補整した子供たち(家庭のご協力)。練習用の音楽CDを秒単位で用意し、短期集中して練習時間を最大限に生かし、完成させた師弟揃っての努力の成果です。

また、「時間不足で運動会に間に合わない。」と、ご心配を頂いた6年生の『マーチング』の堂々とした演奏と行進。月曜朝会だけでなく、夏休みに保護者や音大生のボランティアの皆さんがパート練習してくださったお陰で、素晴らしい演奏に仕上がりました。隊型を整え黙ってじっと待ち、演奏を始めた6年生の演技に、目が釘付けになった下級生です。下級生の憧れになる『ソーラン』も『マーチング』も、伝統を重ねた力を感じます。これからも大切に継承して参ります。

子供たちの安全確保のために、西門を閉鎖させていただきました。ご不便をお掛けしたことをお詫びします。近隣校でも危機管理情報が流れるなど、子どもの危険を排除できない現状です。役員さんをはじめ100名以上の保護者の皆さんが、会場の安全と安心を守ってくださることは大変有り難いことです。厚くお礼申し上げます。

「子供は、親が学校や地域での子供同士での関わりを見守り、適度にかかわる中で、優しく育つ」といいます。ことわざには、「我が子可愛くば、他人の子を可愛がれ」とあるように、無責任な噂に惑わされることなく、日常の子供の話から交友関係をつかむとともに、PTA活動や地域活動に参加することが、親と子の有益な学習の機会になります。その意味で、子供たちの安全を守るために、大勢の皆さんが参加していただける仲町小の子供は、幸せだとつくづく思います。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。

【1学期末にあたり】

13日(土)は、終業式。1学期に学んだ足跡を通知表でお知らせします。この半年、お子さんの成長を感じられたのはどの場面だったでしょうか。

学校全体としては、先日の保健便りでもお知らせしましたように、欠席やけがをする子どもが昨年に比べぐんと減り、落ち着いて生活している様子が伺えます。毎週の朝読書の時間は、廊下を歩いていても、声ひとつ聞こえず、それぞれの興味に従った読書ができてきたと、感じています。チャイムや時間を考えての行動も、素早くなってきました。何より、廊下を走る子供がいると、「ストップ10でしょ!」と、子供が声を掛けることに、学校全体の成長を感じます。とはいえ、「挨拶は?」「言葉遣いは?」「話の聴き方は?」等、課題はあります。

2学期から、学校の取り組みを紹介すると共に、ご家庭でも協力していただけるように、『仲町スタンダード』をお配りします。鉛筆の持ち方は、お箸と同じ。毎日の食事の際に、ひと声かけていただくと、小学生のうちなら直すことができます。すてきな大人に成長できるよう、ご協力をお願いします。

【交通事故防止に向けて】

通学路の危険箇所は、8月末に警察・区・PTA役員・校長等で廻った結果、電柱や路面の掲示・表示が整ってきました。

区内では、9月中に5件も子供の交通事故が起きているのだそうです。いくら環境を整えても一人一人が注意しなくては事故を防げません。ご家庭でもお子さんに「安全を確かめて渡る」ことを、一言ご指導下さい。